



たっち たっち



もも組クラスだより兼クラス懇談会号 No.5 R7.8.8



太陽ギラギラ☀️暑い暑い夏が続いていますね。まるで天然のサウナ。大人も水浴びして過ごしたいくらいの気温ですよ。少々夏バテ気味な担任です。

そんな担任をよそに、ポットン遊びやボール遊び、テラスでの水遊びなど、興味のある玩具や好きな遊びを思い思いに楽しんでいるもも組の子ども達。その合間には、お茶っこを飲んで「あー」「おっしょ（美味しい）！」と休憩&水分補給も欠かせません♪

子ども達からエネルギーを分けてもらいながら、8月も元気に楽しく過ごしていきたいと思います！

新しいお友達

あまりめ ひより
ちゃん



テラスでの水遊びでは、熱中症予防の意味も含め、頭からつま先まで水をかけ、全身で水遊びを楽しんでいます。水の感触や音、流れたり水しぶきが上ったりする様子など、自然と五感で色々なことを感じています。中には、水中に手を入れると自分の手が歪んで見えることを不思議そうに見つめ、水から手を出して手をグーパーさせ、「ん？」と首をかしげる子も…。

室内でも夏ならではの遊びを楽しんでほしいと思い、色水を凍らせて作った色水氷を使って遊んでみました。画用紙を入れてみると色が移り、涼しげな制作品に♪。遊びの延長線上で制作活動を楽しめるように心がけています。

今後も、遊びを通して一人一人の学びを大切に、楽しく丁寧な関わり・援助に努めていきたいと思っています。



👉・👉・共感・要求の指さし・👉・👉

個人差はありますが、赤ちゃんは10か月頃～言葉が出てくる1歳半頃まで、指さしを行います。もも組の子ども達も最近、よく指さしをします。これは、周りにあるものを認識し始めたサイン。月齢が上がるにつれ、指さししながら共感を求めたり、「あれが欲しい」「これ食べたい」などといった要求をしたりと、言葉の代わりに使うようになります。

子ども達が自分から何かを指さした際は、「〇〇だね」「赤いね」「丸いね」など、その物の情報を簡潔に伝えながらリアクションしてあげると、目の前の物と言葉を結び付けることができ、言葉の獲得にも繋がっていきます。

また、園では「ちょうだい」と言うと、持っていたおもちゃや食具をくれたり、「どうも」「パチパチ」など、簡単な言葉を理解して仕草で表現したりして、保育者とのやり取りを楽しんでいます。

ぜひお家でも、今しかできないめんこいやり取りをたくさん楽しんでいただけたらと思います。



おねがい

* 歩行やつかまり立ち、伝い歩きが上手なお子さんが増えてきました。そこで、お盆明けから、準備ができ次第、園で使用する外靴を持たせていただきたいと思います。準備していただくにあたって、以下のことを考慮した靴選びにご協力ください。

・お子さんの足のサイズに合っているもの

→まだバランスは不安定です。サイズが合っていないと、靴が脱げてしまったり、足がきつくて痛くなったり…転倒や怪我につながってしまう可能性があります。

・履かせやすいもの

→今後、避難訓練の際に使用する場合があります。実際に避難することになる可能性もありますので、スムーズに着脱できるものを選びましょう。（避難でなくても、子ども達の「早く遊びに行きたい！」を叶えることにも繋がります♪）

☆足の甲が高い、幅が広いなど、一人一人足の形が違いますので、お子さんと一緒に選びに行き、試着してから「これだ!!」と思えるものを選べると安心ですね！

